

2024 年度国際教養学部 FD 活動方針・活動計画

1. 2024 年度国際教養学部 FD 活動方針

昨年度は、ディプロマ・ポリシーに基づく学修成果を適切かつ多角的に把握・評価するだけでなく、学部教員側へ新しい知見をインプットすることを意識した FD 活動となった。この準備に基づき、2024 年度は学生の学修成果を多角的に把握・評価するための活動に立ち戻ることとしたい。

2. 2024 年度国際教養学部 FD 活動計画

(1) ポートフォリオを通じて学生が行った自己評価を再点検する。

2023 年度から開始したルーブリック評価の実施状況と今後の運用について、あらためて教員間で課題を共有し、どのような対応・体制が求められるのか、改善課題は何か、さらに指導にどのような工夫が求められるか、議論する場を設ける。

(2) 演習運営の向上を通じ、卒業時のアウトカム（卒業論文）向上を目指す。

毎年、教員間で卒業論文のテーマや内容を共有する FD 活動を行うと同時に、国際教養学部のアーカイブとしてデジタル保存し、さらに各ゼミから選出した優秀論文を学部生に公開する体制は整ってきた。そこで、2024 年度は、その活動過程で浮かび上がってきた課題についてあらためて議論する場を設ける。具体的には、学部で積み上げてきた学びを学生自身が自分の研究に反映させるための道筋が共有されているかどうか、論文執筆に必要な論理的な思考をどう構築するか、等について自己点検しつつ、卒業論文という成果物をどのように学部での学びの集大成にできるか、議論を始める。

以上